



食品工業技術センターで職員から説明を受ける
党愛知県議団（左側6人）

食品製造業の振興を

党県議団 技術センターを視察

名古屋市

公明党愛知県議団（渡会克明団長）は先ごろ、名古屋市西区にある、あいち産業科学技術総合センターの関連施設、食品工業技術センターを訪問し、最先端の研究開発の現状を視察した。

同技術センターは、県内の食品業界の技術支援機関として、製品の高品質化や製造工程の効率化、新素材・新製品の研究に取り組んでいる。

また、バイオテクノロジーや殺菌・保存技術の開発にも力を入れている。一方で、食品に異物が混入した場合、企業から委託され、原因究明を行うこともある。

党県議団一行は、職員による概要説明の後、施設内を視察。また、万が一、食品に動物の毛が混入した場合、DNAレベルで判定して、その種類を特定できる検査用試薬

「動物の識別用プライマーセット」などについて説明を受けた。

渡会団長は「重要な産業である食品製造業の、さらなる振興に取り組んでいきたい」と語っていた。